

7. 雨量と降り方

気象庁が発表する防災気象情報の中で「激しい雨」、「非常に激しい雨」などと表現しています。「1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれ」など、具体的には以下のイメージとなります。普段から雨の様子に注意しておきましょう。

1時間の雨量 (mm)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
雨の降り方	 ザーザーと降る。雨音で話し声がよく聞こえない。	 どしゃ降り。側溝や水路、小さな川があふれる。	 バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。	 滝のように降る。土石流が起こりやすく、車の運転は危険。	 息苦しくなるような圧迫感がある。雨による大規模な災害の発生するおそれがある。

8. 非常時の持ち出し品の例

災害発生直後から救援物資が届くまで、最低限必要なものは、準備しておきましょう。

ポイント

- ①自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
- ②非常持ち出し袋は両手が使えるリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、一度背負ってみましょう。
- ③各自に1つのリュックサックを用意して、すぐに持ち出せる場所に保管しましょう。

リュックサックの重さの目安は 男性 15kg 女性 10kg 程度です！

- (具体例)
- 非常持ち出し袋 (リュックサックなど) に入れておくもの
 - 携帯ラジオ (予備電池含む) □懐中電灯 (予備電池含む) □非常食 (乾パン・レトルト食品など)・飲料水
 - 生活用品 (ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュ、トイレットペーパー、ビニール袋、マスクなど)
 - ろうそく (太くて安定のよいもの) □衣類 (下着、上着、靴下、ハンカチ、タオルなど)
 - 救急用品 (ばんそうこう、ガーゼ、脱脂綿、包帯、三角巾、消毒薬、胃腸薬、とげ抜き、ハサミなど)
 - 家族構成によって必要なもの
 - 粉ミルク □紙おむつ □生理用品
 - 常備薬 (持病のある方は忘れずに) □高齢者や障害者のための準備品 (介護用品など)
 - 避難時の必需品
 - 現金 (紙幣だけでなく、公衆電話用の10円硬貨も) □雨具 (カッパ) □手袋 □ヘルメット (防災ずきん)
 - 貴重品 (預金通帳、健康保険証、免許証、住所録のコピーなど)
 - あると便利なもの
 - 毛布・寝袋 □カセットコンロ □使い捨てカイロ □割りばし □レジャーシート □携帯トイレ

緊急連絡先

● 鶴岡市役所 25-2111	● 消防 119	● 警察 110
国土交通省 酒田河川国道事務所	0234-27-3331	酒田市上安町1-2-1
山形県 庄内総合支庁	0235-66-2111	三川町大字横山字袖東19-1

鶴岡市消防本部
マスコットキャラクター
てんじんくん

平成29年3月
鶴岡市防災安全課

鶴岡市防災情報学習版 (洪水災害編)

～洪水被害から身を守る避難行動～

＝はじめに＝

全国各地で洪水被害が発生しており、ここ数年、降雨の様相が変化し、短時間で局地的に発生する集中豪雨が増加しています。

本市では、平成25年7月18日に1時間の降水量が64.5ミリと観測史上最大の記録的な豪雨となり、市内の各地で道路の冠水などがありました。

市民の皆さま一人ひとりが身近に想定される危険を知っていただくとともに、個人、家庭、地域で備えることが大切です。

この「防災情報学習版」は、洪水災害への備えや避難行動などの情報が記載されていますので、ご覧になって、いざというときに備えましょう。



(三川橋から上流を撮影)

(赤川河川敷きグラウンド)

(平成25年7月豪雨の冠水状況)

1. 日ごろからの備え (自主防災組織や家庭での取り組み)

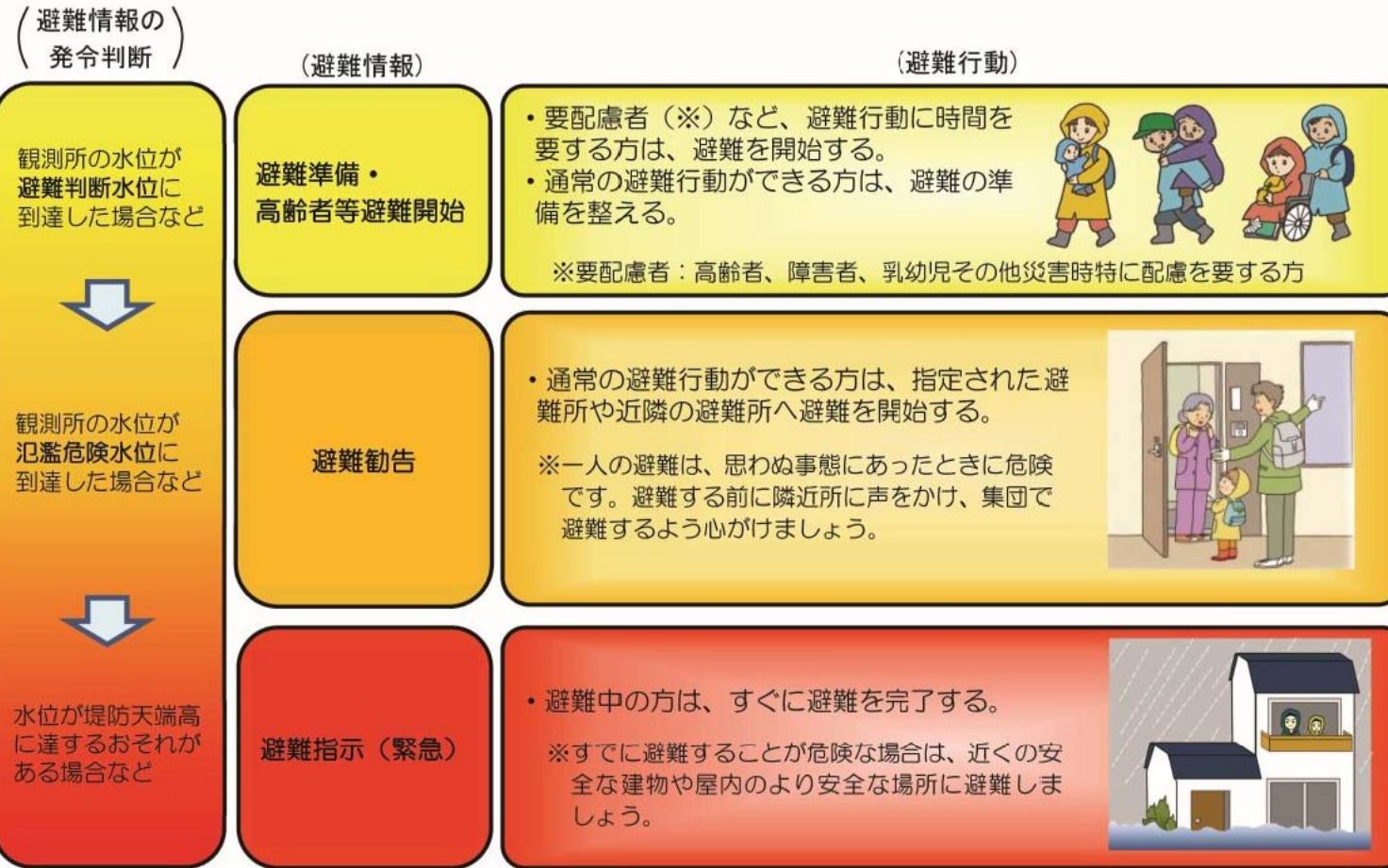
大きな災害が起こった時は、自分の身は自分で守ることが大事ですが、地域の人たちみんなで助け合う「共助」も大切です。地域においては、あいさつや声かけなど近所づきあいを大切に、家庭においては、家族一人ひとりの役割分担や緊急時の連絡方法などを日ごろから話し合っておきましょう。

- 家庭の取り組み
 - ・避難所、避難経路の確認や防災訓練への参加
自分たちが利用する避難所などを洪水ハザードマップから確認しておきましょう。また、町内会の防災訓練にも積極的に参加しましょう。
 - ・非常持出品の準備、確認
非常食や飲料水など、必要なものが揃っているかチェックし、食べ物などの賞味、消費期限の確認も行いましょう。

- 自主防災組織の取り組み
 - ・防災活動からのコミュニティづくりや防災訓練の呼びかけ
医療・福祉・消防など、災害時に役立つ知識や経験を持つ住民を把握し、いざという時に協力してもらえるようにしておきましょう。また、計画的に防災訓練を実施するとともに、住民の皆さんの参加も呼びかけましょう。

2. 避難のタイミングと行動

災害が発生するおそれがある場合に、住民の皆さんの生命や身体及び財産を守るため、市が避難情報を発令します。
 避難情報は、**避難準備・高齢者等避難開始**、**避難勧告**、**避難指示（緊急）**があります。内容は下記のとおりです。



3. 河川の水位に注意

避難情報の発令判断の目安として、河川ごとに「**避難判断水位**」・「**氾濫危険水位**」を定めています。水位観測所ごとの水位設定を確認して、避難のタイミングを理解しておきましょう。



水位観測所	赤川			内川	青龍寺川	大山川		湯尻川	三瀬川
	羽黒橋	熊出	朝日落合			大山	面野山		
氾濫危険水位	4.60	4.50	5.70	3.00	1.90	4.50	5.90	2.60	2.70
避難判断水位	4.20	4.30	5.40	2.60	1.50	3.90	5.30	2.10	2.20

水位観測所	藤島川	京田川	黒瀬川	倉沢川	五十川	湯海川	庄内小国川	鼠ヶ関川	
								小名部	鼠ヶ関
氾濫危険水位	4.20	3.30	2.80	2.30	2.60	1.50	2.50	3.30	3.10
避難判断水位	3.50	2.80	2.30	1.80	2.20	1.20	2.10	2.70	2.60

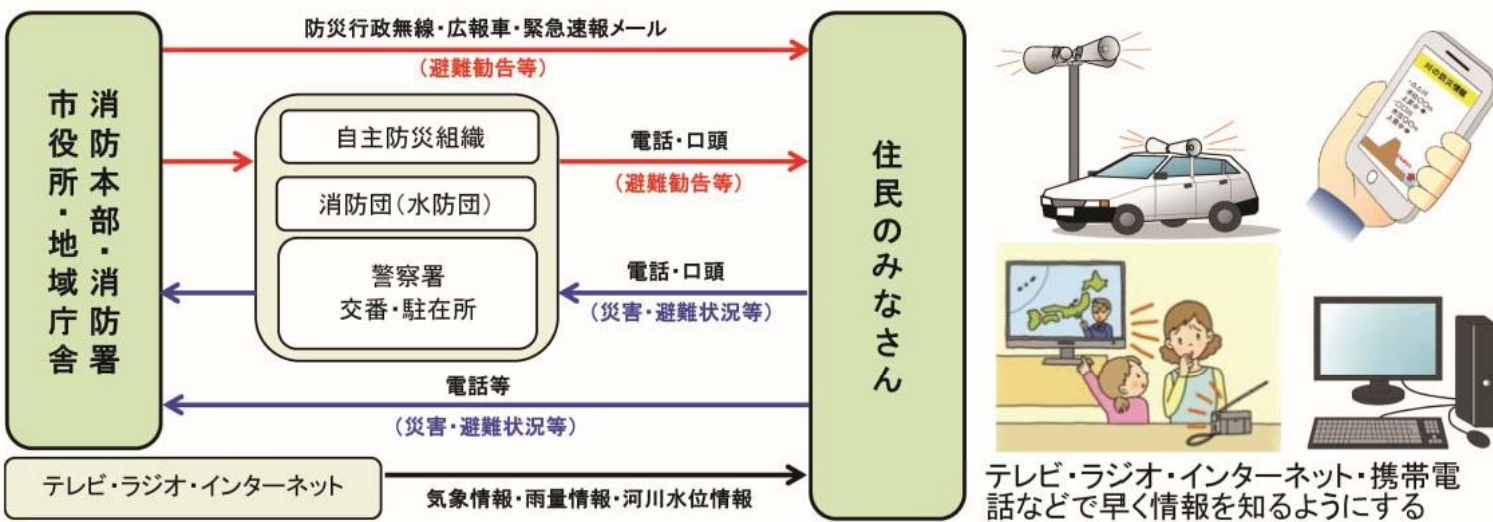
4. 洪水が発生し避難が遅れた場合



避難する上で大切なことは「命を守る」・「安全を確保する」ことです。災害の状況に応じ、最善の方法を考え、避難行動をとりましょう。

5. 避難情報の伝達・入手方法

適切な避難行動がとれるように、市からの避難情報の伝達方法や入手方法を確認しておきましょう。



6. 洪水等の災害情報のチェック

河川水位・雨量情報は、NHKの地上デジタル放送（データ放送）から入手できます。また、気象情報や避難情報もご覧できます。（他局でも気象情報など入手できます）



- dボタンの操作手順**
- ①テレビのチャンネルを1の「NHK総合」
 - ②リモコンの「dボタン」を押す
 - ③メニュー画面の「防災・生活情報」を選択
 - ④「河川水位・雨量」を選択

その他、インターネットから川のリアルタイムな水位や雨量などの情報が入手できます。
 国土交通省 [川の防災情報](http://www.river.go.jp) で検索 <http://www.river.go.jp>